

当日配布資料

地域福祉推進のためのワークショップ

第2次
地域福祉計画・地域福祉活動計画
(平成29年度～34年度)

社会福祉法人久喜市社会福祉協議会

本日の内容

1 説明

地域福祉計画・地域福祉活動計画とは
国の動き
第2次計画の策定経過
計画の基本的な考え方

2 ワークショップ

計画を実現するために

3 まとめ

地域福祉計画・地域福祉活動計画とは

・「地域福祉計画」

社会福祉法第107条の規定に基づき、市町村が行政計画として策定するものであり、「地域の助け合いによる福祉(地域福祉)」を推進するために、人と人とのつながりを基本として、「顔のみえる関係づくり」、「ともに生きる社会づくり」を目指すための「理念」と「仕組み」をつくる計画です。

・「地域福祉活動計画」

社会福祉法第109条の規定に基づく民間組織である社会福祉協議会が活動計画として策定するものであり、「すべての住民」、「地域で福祉活動を行う者」、「福祉事業を経営する者」が相互に協力して、地域福祉の推進を目的とする実践的な活動・行動計画です。

1

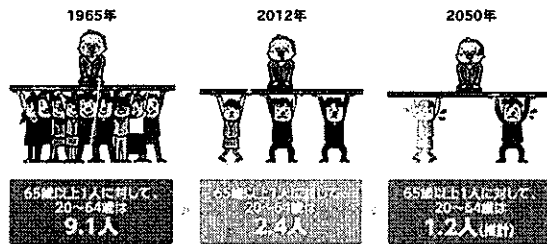
一体的策定の経過

- 旧久喜市……平成19年「地域福祉総合計画」を
社会福祉法に基づき策定
- 旧久喜市社協…平成21年「地域福祉活動計画」を策定
- 平成22年3月に行政が合併、7月に社協が合併
…平成24年度～平成28年度
第1次地域福祉計画・地域福祉活動計画

2

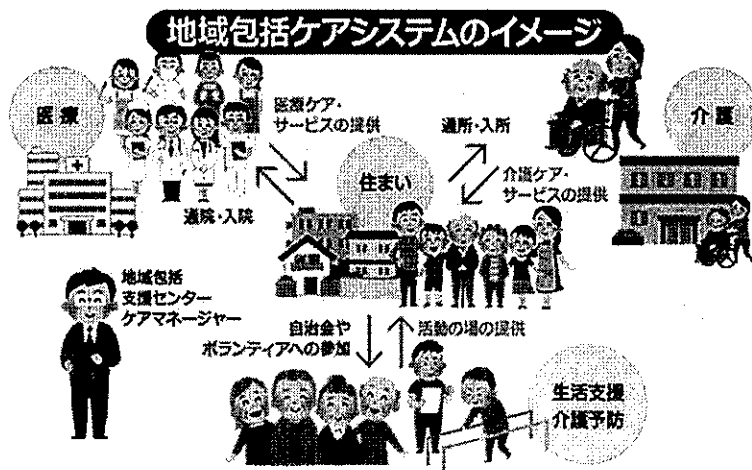
国の動き 2050年には1人の高齢者を1人の若者が支える!?

- これまで経験したことのない超高齢化社会へ。
- 日本の人口構成比(2012年時点) 65歳以上の高齢者1人に対して20~64歳の働く世代は約2.4人。
- 政府の推計では、2050年には約1人の若者が1人の高齢者を支えなければならない時代となると予想されています。



3

- 高齢化に伴う介護・医療を取り巻く問題を国として、そして国民として上手に乗り越えていこうとする厚生労働省の提案が、地域包括ケアシステムの推進です。



資料：厚生労働省

4

「自助」

介護予防に取り組み、健康寿命を伸ばす

- ・市場サービスの購入
- ・自身や家族による対応

「互助」

家族・親戚・地域で暮らしを助け合う

- ・ボランティアなどの支援、地域住民の取り組み

「共助」

介護保険・医療保険サービスの利用

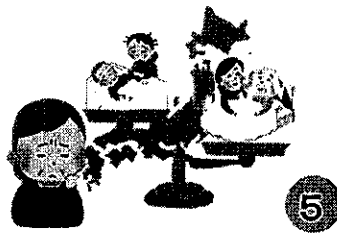
「公助」

自治体等が提供するサービス

医療保険・介護保険の公費

生活困難者への対策として

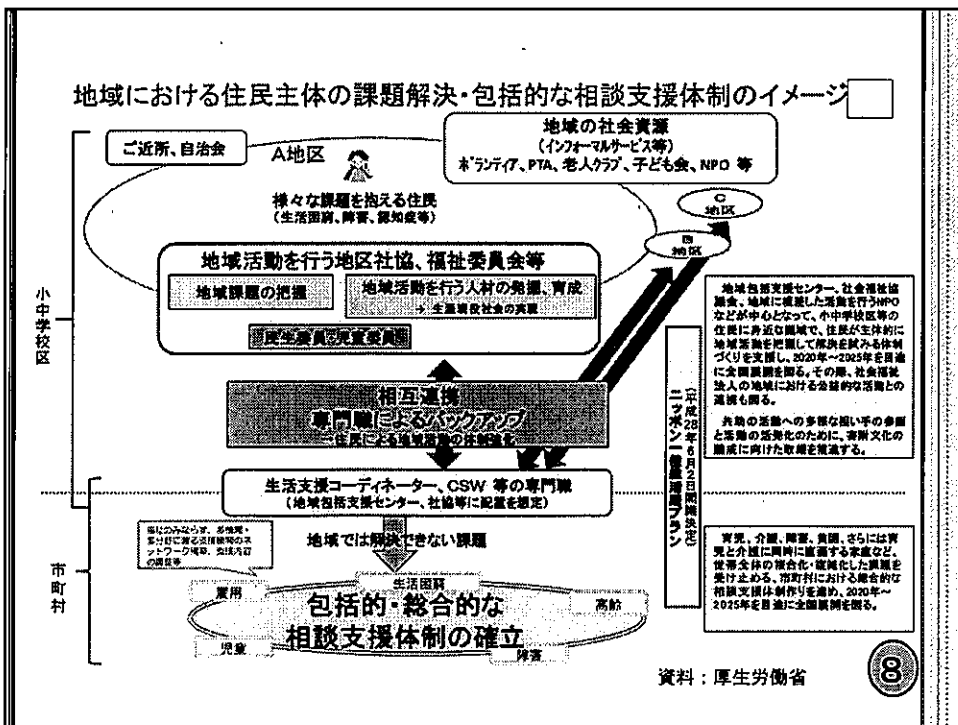
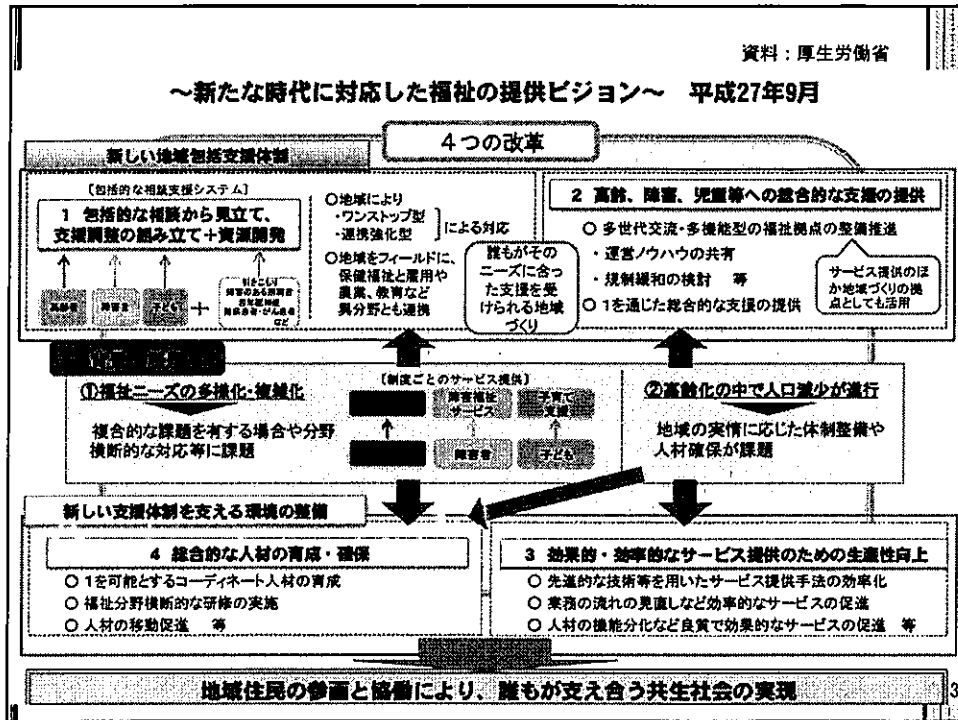
生活保護支給等



さらなる…国の動き



6





- ニッポン一億総活躍プラン(平成28年6月2日)の目玉として…

**「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部について
(第1回開催:平成28年7月15日設置)**



**「地域共生社会」の構築のために
みんなが取り組んでいきましょう**



「地域共生社会」実現の全体像イメージ

“我が事”

我が事・丸ごとの地域づくり

- ・住民主体による地域課題の解決力強化・体制づくり
- ・市町村による包括的な相談支援体制の整備
- ・地域づくりの総合化・包括化(地域支援事業の一体的実施と財源の確保)
- ・地域福祉計画の充実、各種計画の総合化・包括化

“丸ごと”

サービス・専門人材の丸ごと化

- ・公的福祉サービスの総合化・包括化(基準該当サービスの改善、共生型の報酬・基準の整備)
- ・専門人材のキャリアパスの複線化(医療・福祉資格に共通課程の創設、資格所持による履修期間の短縮、複数資格間の単位認定の拡大)

**地域共生社会の理念の共有化
国、自治体、社会福祉法人、住民の責務と行動**



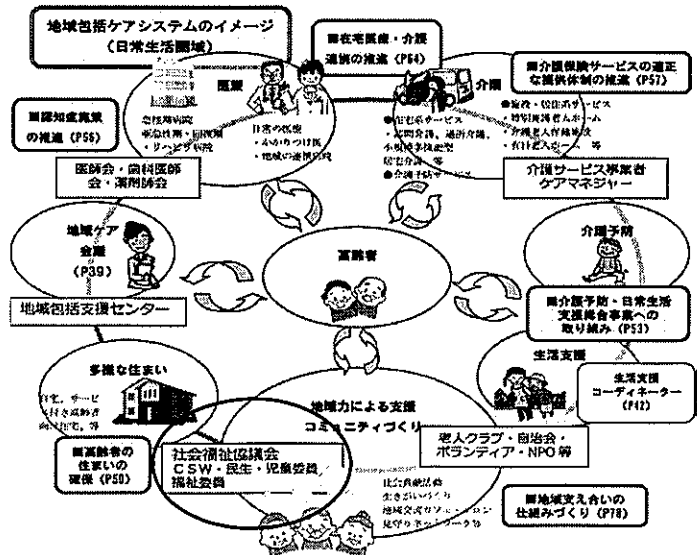
資料：厚生労働省

久喜市の取り組み

11

久喜市における地域包括ケアの実現に向けて

【地域包括ケアシステムのイメージ図】



12

久喜市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画 (P35) より引用

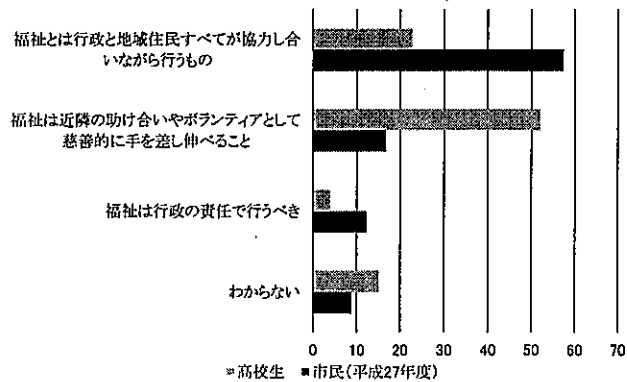
第2次計画の策定経過① 地域福祉に関するアンケート調査の結果

	20歳以上の市民調査	高校生調査
調査対象者	20歳以上の市民 (平成27年4月1日現在)	市内に所在の県立高等学校(5校)に通学している高校生
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出	各学校3クラス
調査方法	郵送による配付・回収	学校配付・回収
配布数	2,000人	660人
回収率	54.9%	100%
調査時期	平成27年6月13日～7月13日	平成27年6月17日～7月16日

13

第2次計画の策定経過① 地域福祉に関するアンケート調査の結果

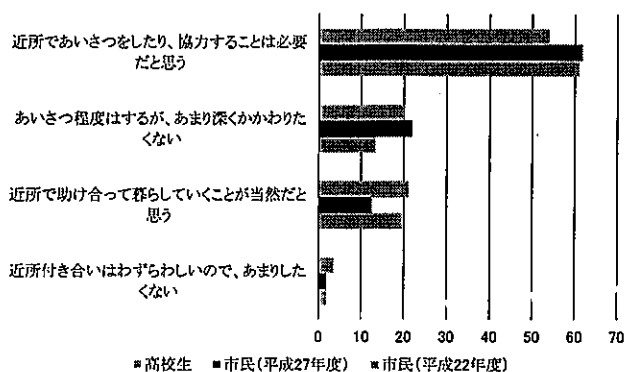
○ 地域福祉に対する考え方



14

第2次計画の策定経過① 地域福祉に関するアンケート調査の結果

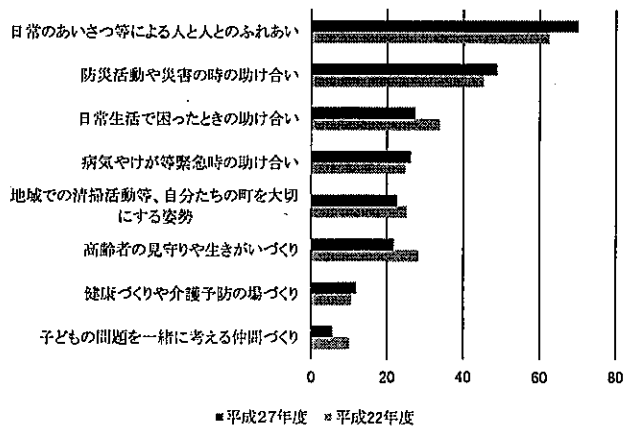
○ 近所付き合いに対する考え



15

第2次計画の策定経過① 地域福祉に関するアンケート調査の結果

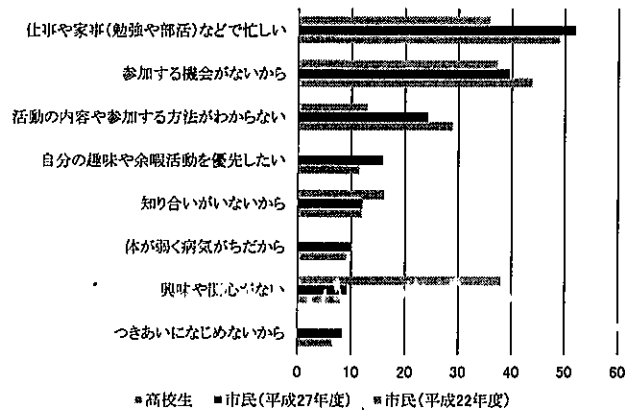
○ 今後の近所付き合いで大切なこと(市民)



16

第2次計画の策定経過① 地域福祉に関するアンケート調査の結果

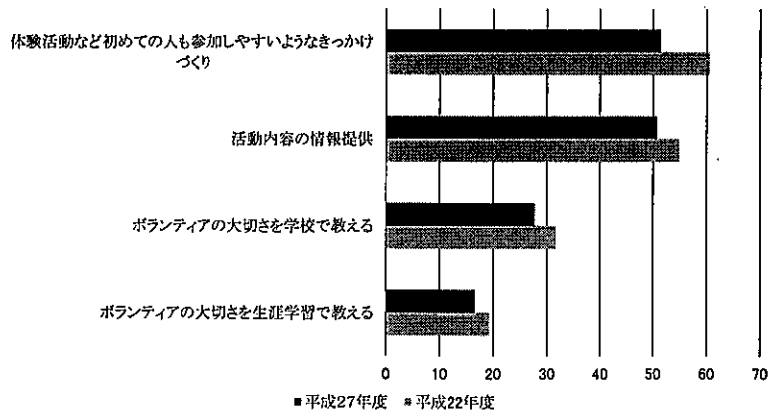
○ ボランティアに参加したことがない理由



17

第2次計画の策定経過① 地域福祉に関するアンケート調査の結果

ボランティア活動などを活発化するために必要な事(市民)



18

第2次計画の策定経過② 地域福祉に関するワークショップの結果

1 地域ワークショップ:19か所 参加者335人

<まとめ>

- ① 高齢化・少子化の進行
- ② 地域のつながりの希薄化・無関心
- ③ 「かくれ孤立」(一見孤立しているようには見えな
いが孤立している状況)
- ④ 連携や相談先が不明確
- ⑤ 情報発信の不足
- ⑥ 集まる場所や集会所不足

19

第2次計画の策定経過② 地域福祉に関するワークショップの結果

2 専門職ワークショップ:1か所 参加者56人

<まとめ>

- ① 親族との関係が疎遠
- ② 重度化及び複合的な課題の世帯への対応が
増加
- ③ 介護者の介護負担感の増加
- ④ 孤立化している世帯の増加

20

アンケート調査及び ワークショップの結果から見える課題

- ① 「地域福祉」への理解と、地域福祉活動への
市民参加
- ② 地域の助け合い・支え合い
- ③ 地域福祉活動における人材育成及び連携体制
- ④ 相談体制の整備
- ⑤ 情報提供

21

計画の基本的な考え方

【基本理念】

「ともに生き、ともに安心して暮らすことのできる
地域社会づくり」

基本目標1

いきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

基本目標2

お互い様の気持ちで支え合う地域づくり

基本目標3

みんなで暮らせるまちづくり

基本目標4

サービスを利用しやすい環境づくり

22

ワークショップ
計画を実現するために

- グループで自己紹介
発表者の確認
- 基本目標1の実現にむけて
- 29年度は何から取り組んだらよいでしょうか
- グループ発表

23

ワークショップ
計画を実現するために

- この地域に今ある「地域づくり」

区長・区長代理・自治会	コミュニティ協議会
民生委員・児童委員	福祉委員
ふれあい・いきいきサロン	ふれあい食事サービス
はつらつ運動教室	いきいきデイサービス
自主防災組織	彩愛クラブ
くき元気サービス	認知症サポーター ボランティア…

24

ワークショップ
計画を実現するために

- 基本目標1「いきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり」の実現にむけて

地域の課題を「我が事」とするには どうしたらよいでしょうか	順位
----------------------------------	----